

## 羽ばたけミドリシジミ！ハンノキ再生プロジェクトの植樹活動報告

<活動日時>2023年12月12日(火) 9:00 ~11:30

<活動場所>秋ヶ瀬公園ピクニックの森 南池周辺

< 天 気 > 雨のち曇り

< 参加者 > 埼玉森林インストラクター会5人(池田、横山、豊福、近江、久保)、秋ヶ瀬公園管理事務所6人、浦和自然観察会2人、さいたま市環境対策課1人 合計14人

<活動内容>

本日は2023年12月12日(火) 羽ばたけミドリシジミ！ハンノキ再生プロジェクトの記念すべき日になった。5本のハンノキの実生苗を秋ヶ瀬公園ピクニックの森の南池周辺に植樹した。ここに自生していた実生1本と併せて合計6本になった。何本が大きく育つだろうか楽しみだ。

尾瀬の3本カラマツをご存じでしょうか。3本カラマツは尾瀬沼のほとりの大江湿原に、平野長蔵氏が大正6年に4本のカラマツを植樹し、1本が枯れ、3本になった。それが3本カラマツの名称になっている。

ハンノキの生育を祈願し、皆で植樹した。

秋ヶ瀬公園管理事務所の小田所長の挨拶からスタートした。続いて担当の竹林さんの説明が始まった。なんと、羽ばたけミドリシジミ！ハンノキ再生プロジェクトの説明板が4個出来ていた。秋ヶ瀬公園管理事務所に感謝。植樹するハンノキの実生苗を前に5本並べて、ハンノキ再生プロジェクトの説明板を持って、全員で記念写真を撮った。

その後、横山さんの指導のもと、植樹が始まった。まず、植樹する所の地面の草の根をとるとともに、少し穴を掘り、実生苗を入れ、土を被せる。少し水をかけ足で踏み固める。次に実生苗の近くに竹杭をさし、シュロ縄で8の字に竹杭に括り付けて完成した。1本幹の実生苗は葉のついていない下の方の枝を切り落とした。余分なエネルギーが下の枝に行かない様に処理をした。

自生していたハンノキの実生も竹杭を立て、引き抜くなどされない様にした。

次に周囲4箇所羽ばたけミドリシジミ！ハンノキ再生プロジェクトの説明板を付けた。

その後、ティータイムとし、打ち合わせをし、1月度に今後のスケジュールなどの会議をすることで、解散した。参加者の皆さんは充実した顔をされていた。

※皆様のご参加をお待ち致しております。

担当 久保 090-7358-2897 メール:[masaharu-kubo@mvc.biglobe.ne.jp](mailto:masaharu-kubo@mvc.biglobe.ne.jp)

埼玉森林インストラクター会





草の根をとる久保



草の根をとる横山さんと穴を掘る近江さん



穴を掘る近江さん



植樹する豊福さんと池田さん



竹杭にシュロ縄で固定する池田さん



竹杭にシュロ縄で固定する横山さん



草の根をとる豊福さん